

株式会社百十四銀行は、所有する保養施設跡地に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を当行施設で消費するほか、一部営業店舗の照明をLED化及び空調設備を省エネ機器に転換します。これにより、各営業店舗等の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出量を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

## ＜事業適応計画の概要＞

### 1. 事業適応計画の実施期間

2022年9月～2024年3月

### 2. 生産性向上目標

炭素生産性を8.3%向上することを目標とする。

### 3. 前向きな取組の内容

所有する保養施設跡地に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を当行施設で消費するほか、一部営業店舗の照明をLED化及び空調設備を省エネ機器に転換することにより、炭素生産性の向上を図る。

### 4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

## ＜取組の内容のイメージ＞



照明のLED化



省エネ空調



太陽光発電設備の設置